



第 6 回日本肘関節学会カダバーワークショップ

日時	2026 年 7 月 31 日(金)、8 月 1 日(土)
場所	札幌医科大学 保健医療学研究棟 1 階 大会議室 教育研究棟 B1 階 解剖実習室
主催	札幌医科大学医学部整形外科学講座
共催	一般社団法人日本肘関節学会

[資 料]

- 1.開催概要
- 2.札幌医科大学案内図
- 3.スケジュール
- 4.グループ分けについて
- 5.遺体・機器
- 6.注意点

第 6 回日本肘関節学会カダバーワークショップ 開催概要

● 実施責任者・分担者

- ◆総括責任者：札幌医科大学医学部整形外科学講座 教授 寺本 篤史
- ◆実施責任者：札幌医科大学整形外科学講座 助教 高島 健一
- ◆実施管理者：札幌医科大学医学部解剖学講座細胞組織学分野 教授 大崎 雄樹
- ◆実施分担者：糸魚川総合病院 整形外科 副院長 長田 龍介
(日本肘関節学会理事)
- ◆実施分担者：札幌円山整形外科病院 副院長 小笹 泰宏
(日本肘関節学会広報渉外委員会委員長)
- ◆実施分担者：札幌円山整形外科病院 整形外科 青木 光広

● カダバーワークショップに寄せて

近年、肘関節外科において様々な手術技術が開発されている。それらの技術は的確に行われれば安全で質の高い医療として受け入れられることが可能であるが、その習得に時間がかかるのが現状である。例えば、肘関節鏡では関節内・関節外構造の理解と立体的オリエンテーションが大切であり、それは動物の肘関節を用いて実習することが不可能なものである。肘関節の解剖を理解し、関節鏡手術基本手技を習得することにより、肘関節鏡手術により発生する神経・血管合併症を回避し、安全で効果的な手術を実施することが可能である。

また、上肢の外科手術を行う際に、手術アプローチは大切な手術の基本であり、神経・血管を避けて関節周囲の組織を非侵襲的に展開し、最短距離で目的部位に到達して手術を遂行するために、肉眼解剖は必須の領域である。

今回実施する肘関節学会キャダバーワークショップでは、自らを標本として献体された本学篤志家団体の方々の崇高な意思と尊厳を忘れることなく、感謝と敬虔な態度で遺体に接することで、生命の尊厳への理解を深めてゆく。手術手技研修の前後には参加者全員で献体に黙祷をささげる。本ワークショップは、札幌医科大学倫理委員会の審査を経て、学長の承認とカダバーセンターの協力を経て行われる。

● 日本肘関節学会カダバーワークショップ構成メンバー

日本肘関節学会 理事長：岩崎 倫政

日本肘関節学会 理事（広報渉外委員会担当）：長田 龍介

日本肘関節学会 広報渉外委員会委員長：小笹 泰宏

日本肘関節学会 広報渉外委員会委員：石井 英樹，大井 宏之，加藤 直樹，
富田 一誠，長尾 聡哉，山崎 哲也，山本 真一

日本肘関節学会 広報渉外委員会アドバイザー：今谷 潤也，中村 俊康

サポートメンバー：高島 健一，銭谷 俊毅，青木 光広，織田 崇，辻 英樹，島村 安則

● 講義・実習担当者

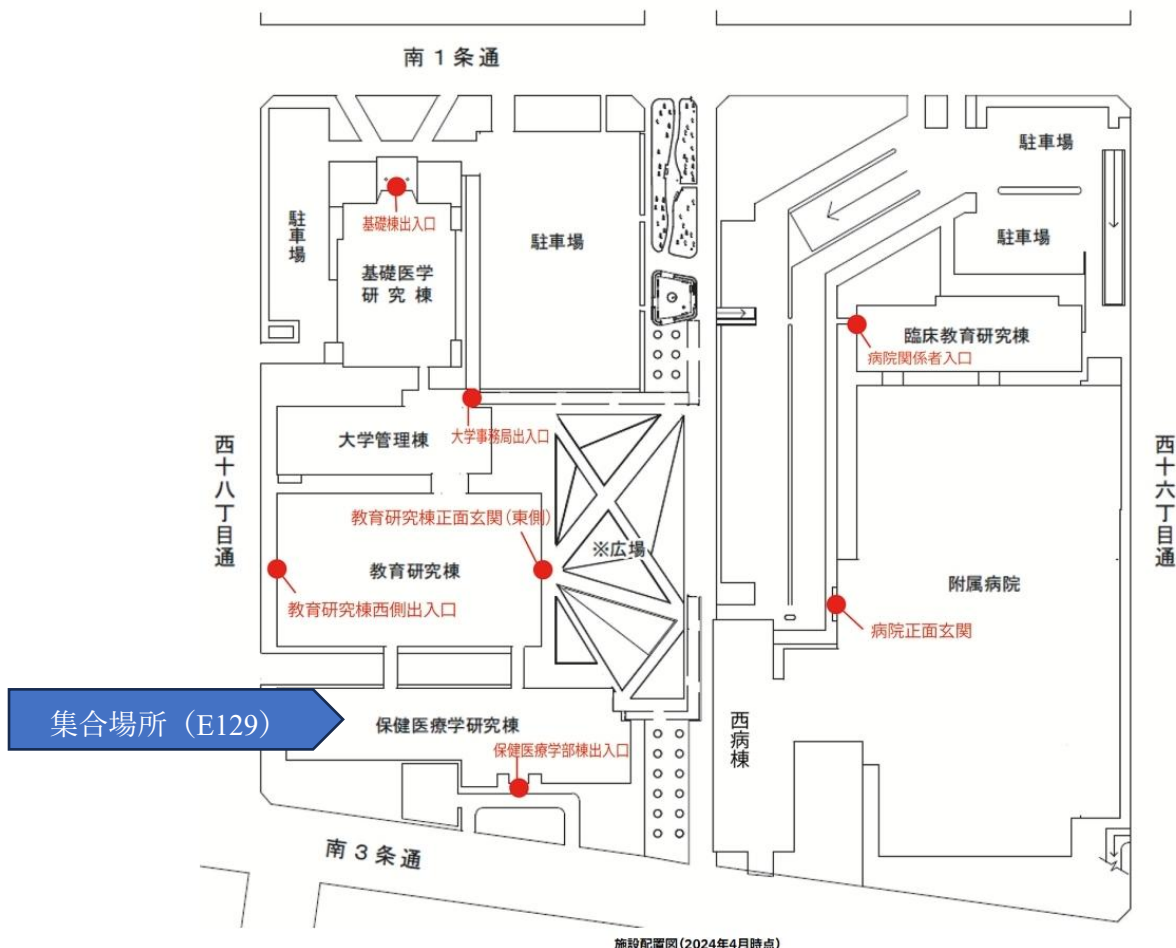
座学

ガイドライン（大崎 雄樹），関節鏡（富田 一誠），肘関節アプローチ（辻 英樹），
靱帯再建（島村 安則）

実習講師 織田 崇，辻 英樹，富田 一誠，中村 俊康，島村 安則

札幌医科大学案内図

[建物案内図](#) | [札幌医科大学](#)（札幌医科大学のページへリンクします）



●7月31日(金)

集合:保健医療学研究棟 1 階 大会議室 (E129)

12:30 受付開始、免責同意書提出

13:00 ワークショップ開始

開会挨拶:長田 龍介

「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の解説:大崎雄樹

13:20 手術ワークショップのオリエンテーション:小笹 泰宏

13:30 講義 1 : 関節鏡 富田 一誠

※日本手外科学会教育研修講演

14:30 解剖実習室へ移動・更衣

15:00 関節鏡実習

18:00 終了

19:30 情報交換会

●8月1日(土)

集合:保健医療学研究棟 1 階 大会議室 (E129)

08:00 受付開始、更衣

解剖実習室へ移動・機器セットアップ、

08:30 黙祷

08:35 関節鏡実習開始

11:35 関節鏡終了

11:50 集合写真撮影

12:00 昼食 Arthrex 社製品使用説明

講義 2 : 肘関節のアプローチ 辻 英樹(20 分)

講義 3 : 肘の靱帯再建 島村 安則(20 分)

13:00 肘後方アプローチ

13:30 仰臥位に変更. MCL 再建術シミュレーション

14:15 肘内側, 外側アプローチ

15:00 黙祷(中締め)

15:10 自由解剖

16:15 手術創皮膚の縫合

17:00 黙祷、ワークショップ終了

ワークショップで予定する手技との基本的なゴール

◆肘関節鏡における体位を理解し、その後、前内側、前外側、後方ポータルの作製を行い、肘関節内の鏡視を行う。

◆前方鏡視での鏡視下滑膜切除術、鏡視下関節滑膜ヒダ切除術、鏡視下 ECRB 部分切除術を行う。また、後方鏡視下での上腕骨小頭への鏡視下 drilling、肘頭窩の骨棘切除術などの応用手術手技を実習する。

◆肘関節内側側副靱帯再建術のシミュレーションでは、tenodesis screw を用いた再建術を予定している。

◆手術器械等は特に用意するものはない（当方で必要物品は用意する）。

◆各自、次の関節鏡ポータルについて予習をお願いいたします。

前内側 : Anteromedial portal

前外側 : Anterolateral portal

後方 : (Direct) Posterior portal

後外側 : Posterolateral portal

外側 : (Direct) Lateral portal または Soft spot portal